THE NIKKAN KENSETSU TIMES

2021（令和3）年
7月 2日（金曜日）第15010号
千葉版

昭和41年12月14日　第３種郵便物認可　©日刊建設タイムズ社2021

日刊建設タイムズ

www.k-times.com

発行所　日刊建設タイムズ社
〒260-0854　千葉市中央区長洲1-33-15
タイムズビル
電　話043-225-5911　ＦＡＸ043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊（土・日・祝日休刊）
購読料　1か月　8,316円（うち税616円）
6か月 49,896円（うち税3,696円）

千葉エンジニアリング株式会社
計画立案・登録調査・土質試験・各種材料
すべての事務を当社で承ります
ASK ME!

きょうの紙面

1 君津中央病院調剤薬局 BOT方式でプロポ公告
2 袖ケ浦市 地域公共交通計画調査業務プロポ
3 旭市、旭配水場P施設更新等設計はNJSに
4 白井市、富士公園実施設計を指名競争入札で
2 住友化学、千葉地区に1.9万㎡研究棟を新設
3 千葉市環境保健研究所整備工20億円で戸田JV
4

葛南地区合同水防訓練

与えられた役割を全う

地域住民の安心・安全守る

「2021年度葛南地区合同水防訓練」が6月30日、市川市本行徳の江戸川第一終末処理場で行われ、総勢88人が参加した。そのうち、（一社）千葉県建設業協会京葉支部からは40人（32社）。

台風シーズンの出水期にあたり、大雨等による河川の氾濫被害を最小限に防ぐため、県出先機関（葛南土木事務所、葛南港湾事務所、江戸川下水道事務所）及び関係市役所（市川市、船橋市、浦安市）と千建協京葉支部との合同での「土のうづくり」と「積み土のう工法」の技術習得訓練。

実際の災害に対して、迅速かつ的確に対応できる水防体制の強化が目的。この日の訓練で作成した土のう（320袋）は、葛南土木事務所に保管し、台風等の災害時に有効活用する。

（2面に千建協京葉支部からの訓練参加者）

尾頭支部長

荒木・葛南土木事務所長

上野・葛南港湾事務所長

迅速かつ的確な行動での活躍を

訓練に先立ち、主催者として県葛南土木事務所の荒木健一所長は、一昨年の一連の台風災害で、千葉県が大きな被害に見舞われたことに言及。「県民市民の安全安心を守ることも、私たちの役割の一つである」とし「本日はその基本となる土のうづくりと、積み土のう工法の訓練を行う」と説明。「いざという時に迅速かつ的確に行動し、活躍して頂くよう、怪我等に十分に注意して取り組んで頂きたい」と呼びかけ、あいさつとした。

専門的な知識と技術フルに発揮

一方、業界を代表して協会京葉支部の尾頭博行支部長は、近年の異常気象により、爆弾低気圧による1時間に50㎜以上の局地的なゲリラ豪雨で、全国各地に水害や土砂崩れ等が発生していることに言及。

「この京葉地区でも、同じような災害がいつ起こるか分からない」としたうえで「有事の際に我々地域建設業に与えられた役割は、専門的な知識と技術をフルに発揮し、地域住民の安心・安全を守るため、いち早く対応することである」と強調。

新たに防災隊に加わった支部会員を含めて「なお一層の指示命令系統の確認と、水防訓練の基本的な作業手順を習得して頂きたい」と要請するとともに「地元建設業者の重要性を県民に理解頂けるよう、災害時での活動などを通して、業界をアピールしていきたい」との考えを示した。

さらに「土のうづくりや積み方により、我々は県民から『やはり地元建設業者は頼りになる』との声が聞けるよう、今後もアピールに力を入れていく」と述べ、発注者に対しては「業行政側からも地元建設業者の育成と支援を賜りたい」と要望し、あいさつとした。

人海戦術が特徴の伝統工法の重要性

訓練の最後には、葛南港湾事務所の上野兼通所長が「やはり、京葉支部会員が作成した土のう及び土のう積み工法には、一日の長と日頃の鍛錬の成果の差が如実に表れている」と評価。

大型建設機械の発達した現代では、大掛かりな水防工法が可能だが「実際に水防活動が必要とされる状況では一刻を争うことが多く、人海戦術が特徴の伝統工法の重要性は今も変わらない」と強調。

「本日の訓練内容を各社及び各所属に持ち帰り、体験の共有を図ることで、万一の災害時に備えて頂きたい」と呼びかけ、講評とした。